

これから10年間の香南市の教育を考える



香南市教育振興基本計画



問い合わせ
教育委員会事務局
学校教育課 ☎57-7521

香南市教育委員会ホームページ
<http://www.city.kochi-konan.lg.jp/kyoiku/>

教育の現状と課題

施設について

●教育施設：保育所7所、幼稚園4園、小学校8校、中学校4校を開設しています。教育研究所(保育・教育に関わる調査研究と研修会、教育相談等を実施)、教育支援センター「森田村塾」(不登校等の子ども)の居場所づくりと学校生活への復帰の支援等を設置しています。

●文化施設：公民館15館、図書館2館(各地区公民館に図書室を併設)、文化財センターを開設しています。
●体育施設：屋内・屋外スポーツ施設、マリンスポーツ関連施設を開設しています。



▲4月7日に発足した「香南ジュニアヨットクラブ」。マリンスポーツ振興計画の一環として、NPO法人 YASU海の駅クラブに事業委託を行い、マリンスポーツの活性化につなげていく取り組み。平成24年度の委託費は約530万円

香南市教育委員会では、毎年度教育行政方針を策定し、教育行政を推進してきました。今回、教育基本法の改定に伴い、平成24年度から10年間の計画として、就学前・学校教育、生涯学習にかかわる教育施策の全般についての教育振興基本計画を策定しました。歴史と伝統に育まれた香南市が持つ、さまざまな力を生かした教育を学校、家庭、地域、行政が一体となって進めていきたいと思います。

小中学校での課題

●学力：到達度把握調査や全国学力・学習状況調査の結果では、小中学校とも全国水準に達していますが、学校間や児童生徒間によって、ばらつきが見られます。そのため、算数・数学について、教員の授業研究や指導方法の工夫・改善などに取り組んでいます。また、家庭学習の習慣化や自学自習の工夫・改善にも取り組んでいます。
●体力：小中学校・性別を問わず全国平均を下回っています。体を動かす運動習慣をつくる工夫やスポーツ少年団活動などの支援を行っています。

基本目標と施策

就学前と学校教育の推進

就学前教育と学校教育は、生涯にわたる学習活動の基盤となるもので、社会生活に必要な基礎・基本を習得する重要な場です。



地域の特徴を教育に取り入れた取り組み
▲吉川小学校のラッキョウ収穫(平成23年度)

●保幼小中連携教育の推進：0歳から15歳までの15年間を通して、発達段階に応じた系統的な教育の推進に取り組んでいます。地域子育て支援センターを拠点とした子育ての情報提供や相談、子育てサークルの育成・支援、保育所・幼稚園へ子育て支援相談員を設置し、子育ての相談や指導を行っています。また、小学校5・6年生への一部教科担任制や小中学校教員による相互乗り入れ授業の実施など、小中学校を通じた教育も行っています。

●これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進：①就学前教育の充実②確かな学力の育成③豊かな心の育成④人権教育の推進⑤健やかな体の育成と健康の増進⑥特別支援教育の推進
●きめ細やかな教育の推進：①教職員の専門性・指導力の向上②保育所・学校運営の充実③生徒指導の充実④教育相談・支援体制の充実⑤就学・就

園支援の推進
●安全な教育環境での教育の推進：①防災教育などの推進
②保育所・幼稚園・学校の環境整備
●家庭や地域と連携した教育の推進：①子どもが育ちやすい地域のコミュニティの再構築
②家庭の教育力の向上③放課後の子どもの生活・学習支援の充実

いきいきと学ぶ生涯学習の推進

活力に満ちた香南市として発展するためには、個性豊かで創造力に富んだ人材を育成し、生涯を通じて生きる喜びが実感できる社会の構築が重要

です。そのために、地域の自然や歴史、文化に親しみながら生涯にわたる学び、住民自治の生涯学習推進体制を確立すること、さらに文化意識の向上とさまざまな文化的財産の保護・活用など、文化施策を積極的に推進します。
また、豊かな心を持った、たくましい子どもを育成していくために、体験活動を通じた道徳観や正義感の習得が求められます。地域社会と連携しながら、体験活動などの機会提供や学習の場の確保を行います。
そして、スポーツと健康は不可分の関係にあることから、学校や地域と連携を図りながら、生涯スポーツの振興と健康の増進に向けた取り組みを行う

必要があります。NPO法人こうなんスポーツクラブ、NPO法人YASU海の駅クラブなどと連携を取りながら、スポーツ活動の推進やスポーツに関する情報提供、体育施設・学校施設の有効的な活用を図る取り組みを行います。
●生涯にわたる豊かな心を育む環境づくり：①生涯学習の推進②学びの機会や場の充実③人権を尊重する社会を築くための教育の推進④文化の継承と振興⑤心豊かでたくましい子どもを育成する体験活動・読書活動の推進
●生涯にわたる親しみ高めあうスポーツの振興：①運動・スポーツの推進②スポーツ環境の充実

近年、少子・高齢社会の振興、価値観の多様化などに伴い、社会環境は大きく変化しています。教育の分野におきましても、規範意識の低下、学力・学習意欲の問題、家庭や地域の教育力に関することなど、取り組むべき課題が山積しております。
本市では、平成22年度に教育振興基本計画の策定委員会を設置し、審議を重ねるとともに、アンケート調査を行い、本計画を策定することができました。
今後の施策振興にあたりましては、学校、家庭、地域の相互連携のもと、進めて参りたいと考えておりますので、より一層のご支援ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。
香南市教育委員会



不登校や基本的な生活習慣の確立、社会的規範意識の低下、学力・体力の格差などが顕在化しています。家庭や地域と連携した「早ね 早おき 朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着は、就学前からの継続的な取り組みが重要となります。「香南市保幼小連携プログラム」を活用した連携教育を引き続き推進していきます。

また、不登校支援として、教育支援センターの機能を強化し、障害や発達障害のある児童生徒の能力や可能性を十分に伸ばす、発達や障害の種別・程度に応じたきめ細やかな教育を進めていきます。
▲写真は、教育委員会作製の子育てに関するリーフレット「みんなで育てよう 香南っ子!」



子どもたちが言葉を学び、想像力と創造力を豊かなものにするための取り組みとして、就学前からの読書習慣と読書活動の充実に向けた取り組みを行っています。
また、今年度は、小中学生の読書の質向上と読書時間を増加させるための取り組みとして、小学校5・6年生と中学生を対象にした読書活動推進リーダー「子ども司書養成講座」を実施します。
▲写真は、ふれあい祭りでの絵本の読み聞かせ(平成23年度)